

防災ラジオドラマ「つくば 吾妻小学校地震編 エピソード①」

テーマ 都内で働いている保護者への児童の引き渡し

登場人物（声優）

母親 A・・・伊藤さん。都内で共働きしている夫婦の妻。（伊藤さん）

同僚 A・・・母親 A の職場の同僚。独身。（山中さん）

母親 C・・・櫻井さん。母親 A に子供の引き渡しを頼まれている。（櫻井教頭）

校長先生（沼校長）

教頭先生（大久保副校長）

担任先生 A（根本先生）

ナレーション 「夏休み直前、つくば市の吾妻小学校の先生たちは、1 時間目の授業中に起きた直下型地震の対応に追われていた。」

担任先生 A 「校長先生。2 年 6 組の多くの児童は、保護者へ引き渡しが完了したんですが、まだ 4 人と連絡が取れていません。けが人はいません。」

校長先生 「そうですか。引き続き連絡をとる努力をしてください。報告の終わった先生は、そろそろ暑くなってきましたので、子供たちに十分水分をとらせるようにしてください。では、次の報告をお願いします。」

教頭先生 「あの、校長先生、点検中しません。お昼ご飯はどうしましょうか？」

校長先生 「点検報告が終わったら、残っている児童と先生の数と合わせてどうにか調達しましょう。教頭先生は教育委員会に携帯メールで連絡を入れてみて、返信があったら指示を仰いでみてください。」

教頭先生 「分かりました。それから近隣の皆さんが体育館に集まってきました。」

校長先生 「体育館は市の指定避難所になっていますから、入れてあげてください。私も後で様子を見に行きます。」

教頭先生 「分かりました。」

ナレーション 「一方そのころ、吾妻小学校に子供を預けている伊藤さんは、都内の

勤務先で途方に暮れていた。そして十数分が経過しました。」

母親 A

「あ、返事がきた。旦那は大丈夫みたい。あ、でも・・・」

同僚 A

「でも、なあに？」

母親 A

「あの、緊急の時のね、子供の引き取りをお願いしている清水さんとはまだ連絡が取れないんだけど、近所に住んでいる櫻井さんからは、迎えにいつてあげましょうかって返事がきたの。」

同僚 A

「頼んじやえばいいんじゃない？」

母親 A

「うん、でも学校の引き渡しカードでは、清水さんなんだけどね。今回は櫻井さんをお願いしても大丈夫かな？」

同僚 A

「でも、他に連絡がとれないんじや、仕方ないんじゃない？」

母親 A

「うん、そうだよね。櫻井さんをお願いしてみる。」

ナレーション「伊藤さんからメールをもらった櫻井さんは、自分の子供の引き渡し

の際に司ちゃんの引き受けについて担任の根本先生に相談していた。」

母親 C

「先生。そういうことなんで・・・司ちゃんは私が引き受けますね。」

担任先生 A

「うーん、どうしたら良いんだろう。上に相談してきますので、そのまま少しお待ちいただけますか？」

母親 C

「とりあえず、無事なことを伊藤さんにメールで教えておきます。」

担任先生 A

「教頭先生。実は東京で帰宅困難になっている方からメールで引き取りの依頼を受けた方がいらっしやっているんですが、対象児童の引き渡しカードで届出している方とは連絡がとれないらしく、いらしている方は別の方なんです。吾妻小に通っている子の保護者なんですけど。」

教頭先生

「うん、まあこんな状況だからねえ。メールが確かにその子の親だと判れば例外的に引き渡しても良いんじゃないかなあ。いかがでしょうか、校長先生。」

校長先生

「うーん。しかし、こういった例外がこれからもあった場合に、全て認めてしまうと、いろんな問題が起きますよね。学校全体の安全や責任を考えると、とりあえずその方から伊藤さんに安否を連絡してもらい、引き渡しについてはもう少し待ってもらったほうが良いでしょうね。」

担任先生A 「わかりました」

★この防災ラジオドラマの注意点★

このドラマはつくば市立吾妻小学校において、教職員とPTAの方々を中心に、災害シナリオを考える2回のワークショップ（2010年2月26日、2010年7月22日）を通じて議論された内容に基づいて作成されました。

災害が発生した場合には学校、児童、保護者、地域などの間で様々な局面が想定されますが、このドラマは、地域に発生する大規模地震を想定し、小学校での児童の引き渡しにおける様々な問題や課題について、先生の方々とPTAの方々が話し合い創作されたフィクションです。

ドラマの制作過程では、地域社会の実態を調べ、かつ、行政の防災計画や防災体制、被害想定、ハザードマップ、マニュアルなどの公式な情報を参考にしていますが、社会的なシミュレーション（模擬演習）として、また、今後の改善の視点を盛り込むなどの理由から意図的に事実と異なる設定をしている場合があります。